

請願の審査内容

定例会において付託のあった請願について、所管委員会が審査しました。審査結果は次のとおりです。

番号	請願名	請願者	審査内容	審査結果	所管委員会名
請願第35号	岩手県の医療費助成制度について更なる拡充を求める請願	子どもの医療費助成制度拡充を求める岩手の会 共同代表 小野寺けい子 ほか3名	本件については、全ての子どもたちに健康を守るためにも、中学校卒業までの子どもの医療費助成制度を現物給付方式とするべきであり、また、子どもの施策として、医療費の自己負担を国の制度として無償にするよう、市、県がさらに積極的に国に働き掛けていくべきとの観点から、採択。	【採択】 意見書提出	教育厚生常任委員会
請願第36号	被災者の医療費・介護保険料などの免除措置の継続を求める意見書を提出することを求める請願	奥州金ケ崎母親大会連絡会 会長 菅原 栄美	本件については、被災者の医療費、介護保険料の免除措置については、国の責任で実施すべきであり、また、県が行っている国民健康保険等の医療費窓口負担の一部免除措置の継続も積極的に進めていく時期であるとの観点から、採択。	【採択】 意見書提出	教育厚生常任委員会
請願第37号	日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	岩手県原爆被害者団体協議会 ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会 会長兼代表 伊藤 宣夫 ほか1名	本件については、世界唯一の被爆国として、「核兵器のない世界」に向けた取組みをさらに前進させていくべきとの観点から、採択。	【採択】 意見書提出	総務常任委員会

※今定例会で新市立病院建設調査特別委員会に付託され審査を行った『請願第34号「新市立病院移転建設は、地域医療構想の市民の納得を得てから、可否を議会が決定すること」を求める請願』は、請願者の取下げの申し出により、撤回になりました。

賛否の公表

採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。これ以外の議案等は全会一致で可決等されています。

● 採決結果一覧表 ●

(賛成=○、反対=×)

議席	氏名	会派	議案第20号	請願第37号
1	鈴木 雅彦	奥和会	○	○
6	及川 佐		○	○
8	菅原 由和		○	○
12	千葉 正文		○	○
15	中西 秀俊		○	○
16	小野寺隆夫		○	○
18	中澤 俊明		○	○
20	藤田 慶則		○	○
23	渡辺 忠	市民クラブ	○	○
3	廣野 富男		○	○
10	高橋 政一		○	○
11	佐藤 郁夫		○	○
19	千葉 悟郎	日本共産党	○	○
24	佐藤 邦夫		○	○
2	千葉 敦		×	○
17	菅原 明	新世会	×	○
22	今野 裕文		×	○
27	及川 善男		×	○
4	佐藤 洋	公明党	○	×
5	菊池 利美		○	○
7	菅原 圭子		○	○
13	加藤 清	無会派	○	×
9	飯坂 一也		○	×
14	阿部加代子		○	○
25	内田 和良		○	○
28	小野寺 重		○	○
賛成：反対			22:4	22:4

※議長は採決には加わりません。
(注)請願は原案についての表決

議案第20号 平成28年度奥州市一般会計歳入歳出決算認定について
反対討論 平成28年度奥州市一般会計決算は、予算審査に当たり議会が付した意見が十分に生かされていない。第一は平成28年度の職員体制は、行政職の正規職員883人にに対し非常勤職員は750人と、正職員の85%という異常な状況であること、第二は幼稚園教諭や保育士不足が深刻な状況であること、第三は介護士・看護士の確保対策が喫緊の課題であること等である。これらを早急に解決すべき市政課題と捉え、市民の声にこたえるべきである。

反対討論 市内すみずみまで行き届いた行政サービスを行うことは、合併市の責務であり、そのために職員の定員適正化計画を見直すべき。また、将来の財政危機を過度にあり、財政支出を抑え基金の積立に力を入れ過ぎている。その一部を使い、子どもの医療費助成の拡大や通学路の改善など、市民の要望にもっと応えるべきである。

議案番号	案 件 名
議案第20号	平成28年度奥州市一般会計歳入歳出決算認定について
請願第37号	日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願